

1週間のクォーター間休みを終え、10/1（金）より第3クォーターがスタートしました。7名でスタートした3年生は、半年で倍の14名となり、今後更に人数が増えることが予想されます。そんな中、先週から授業準備や片付け、また6時間目終了後からの帰りの用意と掃除への展開がとてもスムーズに進むようになりました。自ら進んでやる子を見て動いたり、中にはワークブックやノートなど、自分のものを取る時に近くの子のものや残っている子のを渡してあげたりと、年度当初は何度も声をかけないとはできなかったことが、いつの間にかできるようになっていることをとても嬉しく感じた1週間でした。これからも一つずつ習得しながら成長していきたいと思えます。

プログラミング ~micro:bit~

4日（月）の6時間目に、1年1組がプロジェクトとクォーター間休みに取り組んだmicro:bit(*)を使ったプログラミングの発表会の見学に行きました。6月の頭に朝の会に参加したり、担任の三宅先生が3年生の国語を教えてくださいと、1年1組とはこれまで何度か交流をしてきました。

今回は三宅先生から、「micro:bitを使ってそれぞれがプログラミングをしたから見に来ませんか」とお声がけいただき、参加が決められました。3年生は6月に1週間、Sphero BOLTというプログラミングロボットを使ってプログラミングを行っており、子どもたちもそれを誇らしく思っていました。そのため、1年生のプログラミングは簡単なものだと、見るまでは3年生の子どもたちは思っていたと思います。しかし蓋を開けてみれば、相性診断、歩数計、通電チェックの機器、音楽を再生する機器など、実際に世の中に売られているようなものがプログラミングされて作られており、そのレベルの高さに全員が驚いていました。さらに、機器を動かすだけでなく、聞き手に緊張することなく分かりやすく説明する1年生の姿にも大変驚いていました。

見学後の子どもたちの感想にも、「レベルが高くてびっくりした!」「自分たちがやったプログラミングよりも難しいことなのにすごい!」「説明がわかりやすかった!」と書くほど全員が1年生の凄さを感じつつ、「先生、僕たち・私たちもやりたい!」とやる気満々になっていました。

そこで10/7（木）の3/4時間目にmicro:bit体験的な授業として、micro:bitの説明・起動・iPadとのペアリング・簡単なプログラミングを行いました。全員で設定と基礎的なプログラムを組んで確認した後は、それぞれで教室の本を見ながら別のプログラムにもチャレンジしました。こちらが伝えなくても、何名かが協力してチャレンジをしたり、うまく行っていない子がいたら助ける子がいたりしたことも、全員が興味とモチベーションを高く持ってチャレンジしていた証拠だと思います。

1年生の発表会の招待から始まったmicro:bitの学習ですが、偶然が重なり今度は10/13（水）に教育学とソフトウェア工学がご専門の青山学院大学特任教授の阿部和広先生がSOLANの学校見学にお越しになりました。またとない機会のため、子どもたちからプログラミングやmicro:bitについての質問を集め、お話しくださることになりました。阿部先生がお書きになったmicro:bitの本を使ってプログラミングをしている子もいるため、3年生の子どもたちには本当に貴重な機会になります。休み時間にもチャレンジする子がいるほど、micro:bitに熱中しているため、今後も週1程度の時間を使いながら学習していきます。

*micro:bitとは、イギリスのBBCが主体となって作った教育向けのマイコンボードです。

詳しくは [\(こちら\)](#) をご覧ください。 [\(ダイワボウ情報システム教育ICT総合サイトの製品紹介\)](#)

社会 ~疑問への答え~

9月から学習してきた「販売の仕事」をまとめるにあたり、まだわかっていない疑問への答えについて話し合いました。具体的には、①スーパーの営業時間の違い、②魚や肉などの生鮮食品の輸送方法、③価格の違いです。授業の中で子どもたちそれぞれが答えを予想したり、自分の見聞きしたことをもとに話し合ったりしながら進めていきました。疑問が解決して行くと、今度は別の疑問を挙げる子が出始め、最終的には「なんで物には10%のお金がついているの?」「誰がそれを決めているの?」という税金や選挙にまで子どもたちの疑問は膨らんでいきました。「税金や選挙は6年生で学習するものなんだよ。すごいところに疑問を持ったね!」と伝えるととても嬉しそうな顔をしていました。今後もどの教科でもこういった疑問が出る度に話し合いの機会を持って授業を進めていきたいと思っています。

写真は1年1組のプログラミングの発表会の様子、そして理科の授業で遮光板を使って太陽を観察している様子です。